

2015年10月5日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2015年46号)

バングラデシュにおける邦人殺害事件発生に伴う注意喚起

本年10月3日発生した、「バングラデシュ邦人殺害事件」につき、外務省では4日、海外安全情報（広域情報）「バングラデシュにおける邦人殺害事件の発生に伴う注意喚起」を発出しています。

- 外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）

【事件の概要等】

現地時間3日午前10時頃、バングラデシュ・ロングプール（首都ダッカから北西に約300Km程度に位置する都市）において、60代の在留邦人男性が、オートバイに乗った者らにけん銃で撃たれて死亡する事件が発生しました。

現時点において、「ISILバングラデシュ」を称する組織が犯行声明を発出し、イスラム諸国における外国人に対するさらなる攻撃の可能性を示唆しています。

なお、ISILは、本年1月2月にかけて、シリアにおいて、邦人2名を殺害したとみられる動画を発出したほか、本年9月には、ISILの機関誌において、インドネシア、マレーシア及びボスニア・ヘルツェゴビナの日本の外交使節を攻撃対象の候補として言及したことがあります。

【当館から】

- 上記の状況を十分に留意し、特に国外に出る際には、不測に事態に巻き込まれる事のないよう、各地域の特徴を踏まえた上で、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安状況等、関連情報の入手に努めて下さい。

- 日頃から危機管理意識を持つとともに、状況に応じて適切な安全対策が講じられるよう心がけましょう。